

# せせらぎ



平成29年11月20日発行 No.5

校内研究授業 11/8 (水)

6年算数「拡大図と縮図」

指導者 清水明弘 今井紀親

ねらい「辺の長さや角の大きさをを用いて、  
拡大図のかき方を考えることができる。」

今回は、算数班の  
授業の様子をお伝え  
します。



日増しに寒さが加わり、朝夕の冷え込みも厳しくなってきましたが、水曜日の持久走大会に向け、みんな元気よく練習に取り組んでいます。

今回の授業は、拡大図のかき方を考える授業でした。前の時間に学習した、拡大図の特徴を思い出し、対応する辺の長さの比や対応する角の大きさに着目しながらどのようにすれば拡大図がかけられるかを考えていました。

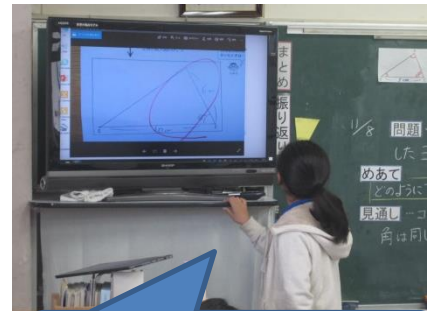
つかむ

1. 「めあて」をもと
2. 「見通し」をもと

今日のめあては、「どのようにすれば、拡大図をかくことができるだろうか」です。教師は、子供たちと一緒にめあてを考え、作るようになっています。



まずは、自力解決の時間。コンパスや分度器などを使って、拡大図をかいています。



自分で考えたかき方をテレビに映し出し、みんなに伝えています。

追究する・深める

3. 自分で解いてみよう
4. ともだちと相談しよう
5. みんなで話し合おう

習ったことを使って問題を解き○付けをしてもらっています。



3つのかき方が出てきました。みんなでまとめています。



まとめる

6. 「まとめ」をしよう
7. 問題を解いてみよう
8. 「ふりかえり」をしよう

合同な三角形のかき方をもとに、辺の長さや角の大きさに着目すれば、拡大図をかくことができることにどの子も気づくことができました。